

2 1. 東京大学地震研究所・京都大学防災研究所 拠点間連携共同研究実施課題一覧

課題募集型研究

年度	研究課題名	研究代表者	担当教員
平成 26	災害ハザード情報を社会機能の強靱化につなげるための要件の分析―首都直下地震想定における企業セクターの災害ハザード情報の活用実態と減災策の分析―	田中淳 東京大学情報学 環総合防災情報 研究センター	矢守克也 平田直
平成 26	青ヶ島天明噴火の推移の高分解能化と、離島の噴火災害減災に関する研究	津久井雅志 千葉大学理学研 究科	井口正人 中田節也
平成 26	築堤記録が無い場合池堤体構造の可視化と地震時危険度評価に関する研究	古谷元 富山県立大	王功輝 堀宗朗
平成 26	高密度年代測定および地中レーダーを用いた北海道における古津波履歴復元の高度化	菅原大助 東北大災害科学	牧紀夫 森田裕一
平成 26-27	地震時土砂災害および社会的影響の発生機構と減災に関する研究	福岡 浩 新潟大災害・復興 科学研究所	林 春男 古村 孝志
平成 26-27	残存性能モニタリングと広域余震ハザードに基づく被災建物健全性の時間変化予測	倉田 真宏 京大防災研	倉田 真宏 楠 浩一
平成 26-27	地震動の空間変動特性評価のための表層地盤の不均質構造のモデル化に関する研究	山中 浩明 東工大	川瀬 博 瀬野 一起
平成 26-27	画像データによる降灰情報収集システムの開発	常松 佳恵 富士山研	中田 節也 井口 正人
平成 26-27	地域の生き残りを可能にする事前復興計画策定手法の開発 ―津波シミュレーションの利用と復興モニタリング―	牧 紀男 京大防災研	牧 紀男 市村 強
平成 26-27	先駆的研究者のオーラルヒストリーから探る地震・火山分野の人材育成モデル	林 能成 関西大	橋本 学 栗田 敬
平成 26-27	琵琶湖疏水の耐震性を考える―琵琶湖西岸断層帯が活動した場合の地殻変動と強震動の影響―	飛田 哲男 京大防災研	飛田 哲男 市村 強
平成 26-27	活断層と建物被害の情報に基づく歴史被害地震の断層モデル構築に関する研究	松島 信一 京大防災研	松島 信一 市村 強
平成 27	地理情報システムおよび地表面露出年代法を用いた地震火山活動に伴う大規模斜面崩壊の発生場および時空間的発生頻度の評価	松四 雄騎 京大防災研	松四 雄騎 森田 裕一
平成 27	地震及び津波による建物倒壊に伴う人的被害の発生機構解明並びに評価手法の提案	岡田 成幸 北大	川瀬 博 飯高 隆
平成 27	絵図史料に基づく歴史地形の復元と歴史災害の分析	蝦名 裕一 東北災害科学	西山 昭仁 加納 靖之
平成 27	拡散波動場理論に基づく地下構造探査手法のミャンマーへの応用に関する研究	川瀬 博 京大防災研	市村 強 川瀬 博

参加者募集型研究

年度	研究課題名	研究代表者
平成 26-27	巨大地震のリスク評価の精度向上に関する新パラダイムの構築～南海トラフ巨大地震にともなう災害誘因・素因の相互依存性を考慮して～	川瀬 博 森田 裕一
平成 27	経時変化を考慮した地震災害リスク評価手法の構築に関する研究	松島 信一 京大防災研
平成 27	巨大地震リスク評価のための都市モデルの構築と高分解能の災害・被害予測の試行	堀 宗朗 東大地震研